

令和元年度事務事業評価シート(平成30年度実績)

◎基本情報

事務事業名		地域経済活性化推進事業(エコミックガーデニング)		担当部署	経済建設部 商工政策課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市中小企業振興基本条例、 鳴門市創業支援事業計画	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業期間	開始	平成 24 年度
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なんと			終期	未定
(小項目)		産業				
施策	1	産業の振興と経営基盤の充実強化				
基本事業	1	地場産業の育成・振興				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市内中小企業者 中小企業支援関係機関						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	中小企業者が活動しやすい環境をつくり、成長を促すことにより収益の向上やそれに伴う雇用の創出、税収の増加を図る。						
事業計画	30年度に何を計画していたか	・市内企業訪問の実施により、地元企業の現状・課題の把握、信頼関係の構築や有望企業を発掘するとともに、国・県・市の中小企業等の振興施策等について周知。 ・鳴門市中小企業振興基本条例に基づき中小企業を支援するため、鳴門市ががんばる中小企業応援パッケージ事業の実施。 ・企業訪問により把握したニーズ、課題を基にして事業の見直しや新規施策の検討のため、中小企業振興施策検討委員会を開催。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位
		がんばる中小企業応援パッケージ事業利用件数	15	15	15	15	15	件

◎実施結果(DO)

事業実施内容	30年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	・市内企業訪問を実施した。 ・鳴門市ががんばる中小企業応援パッケージ事業を実施した。 ・中小企業振興施策検討委員会を開催した。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 企業訪問数(延べ)	100	115	150	150	150	件
	2 起業・創業相談件数(延べ件数)	16	15	5	5	5	件
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	がんばる中小企業応援パッケージ事業利用件数	14	9	—	—	—	件
	目標達成率(実績/目標)		60.0	—	—	—	%
今年度の進捗状況	未達成	事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成30年度	当初予算額	0	0	0	0	7,816	7,816
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	7,816	7,816
		決算額	0	0	0	0	4,008	4,008
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,321千円/人)	臨時職員(2,125千円/人)		総人件費		総事業費
		2.0	0.0		14,642		18,650	

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：地域経済活性化推進事業(エコミックガーデニング)】

事業費推移	年度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
	事業費	6,352	4,008	7,828	7,828	7,828
	うち一般財源	6,352	4,008	7,828	7,828	7,828
	人件費	14,468	14,642	14,642	14,642	14,642
	総事業費	20,820	18,650	22,470	22,470	22,470

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		企業訪問の実施により、経営者等から直接現場の意見を聞くことができ有意義だった。
	効率性	B:概ね効率的だった		企業訪問数は、前年度よりも増加しており、概ね効率的に活動できている。
②成果に対する評価	指標名	がんばる中小企業応援パッケージ事業利用件数		全体の件数は目標値を下回ったが、創業促進事業と事業拡大支援事業については、昨年と同等の利用があった。
	目標	15	件	
	実績	9	件	
	評価	C:あまり目標を達成できなかった		
③総合的な評価		B		企業訪問数は前年度より増加しており、企業からの相談や問い合わせも多くなり、信頼関係の構築につながっている。また、がんばる中小企業応援パッケージ事業の種類によっては利用数の偏りが見受けられたため、企業の動向やニーズを分析し、事業を進めていく必要がある。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	今年度については、消費税及び地方消費税の引き上げに伴い、消費に与える影響を緩和するためにプレミアム付商品券事業を実施することとなっているが、当該事業が市内企業へどんな影響を与えるか注視しながら、企業訪問を幅広く実施し、時代に応じた市内中小企業のニーズや課題の把握を行った上で中小企業支援施策を継続していく必要がある。 また、得られたニーズや課題について「中小企業振興施策検討委員会」にて各連携機関と意見交換を行い、具体的な事業化に向けて検討を行い、既に実施をした施策についても同会議にて検証をし、適宜内容の見直しを行うことが必要となる。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	R1年度	<ul style="list-style-type: none"> 市内企業訪問の実施。 鳴門市ががんばる中小企業応援パッケージ事業の実施。 新規施策の検討や事業の見直しのため、中小企業振興施策検討委員会を開催。 			
	R2年度	前年度の実施内容を検証し、決定する。			